

令和 5年度

事務事業評価表 ( 令和 4年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 5 年 4 月 1 日

事務事業名		プロモーション事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	040301001033
		総合計画の施策名				単独/補助	補助		025101
		0403 観光の振興						所属課	ヤマザクラ課
		政策名						課長名	
		04 活力ある産業のまちづくり						グループ	ヤマザクラグループ
		施策名						担当者名	
		03 観光の振興							
		手段名							
		01 ①観光資源の再発見とPR強化							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
		01	02	01	18	01	00	ヤマザクラの里づくり事業	
法令根拠						期間限定複数年 (平成29年度～令和6年度)			
さくら川百貨選定制度実施要綱(さくら川百貨事業関係)						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
地方創生推進交付金対象事業「桜川市の魅力・地域力をあますことなく発掘、創造、発信する地域商社設立事業」の令和2年度事業計画に位置付けられた「地域産品の磨き上げ・地域の魅力の発信・プロモーション(地域産品の発掘、サイクリングの誘客状況の実態把握)を推進する。前年度「地域固有資源「ヤマザクラ」を核とした桜川市の稼ぐ力創造プロジェクト」	地域産品・地域観光資源発掘事業に係る業務 ・自転車利用の実態調査 ・地位産品発掘・PR ・地域産品の磨き上げに関する有識者招聘 ・ヤマザクラPR ・さくら川百貨事業 ・サイクリング事業(PR・自転車活用)

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
桜川市プロモーション事業に係る業務 ・ヤマザクラPR ・さくら川百貨事業(選定申請品の募集、選定審査委員会の開催、選定品決定、選定品PR) ・サイクリング事業(自転車活用・交通量調査)	さくら川百貨選定審査委員会の開催回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
市民	桜川市の人口	人	38,422.00	37,653.00	37,629.00	36,855.00	36,500.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
「さくら川百貨」として選定し、桜川市内外へ魅力発信し、桜川市の知名度向上、観光の振興、地域産業の活性化に繋げる。	さくら川百貨選定品の件数	件	68.00	68.00	70.00	75.00	80.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	9,570	3,677	5,436	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	360	10,382	17,238	
	事業費計(A)	千円	9,930	14,059	22,674		
	正規職員従事人数	人	4.00人	4.00人	3.00人		

04年度事業費 実績(千円)			05年度事業費 予算(千円)			
07 報償費	343		01 報酬	1,740		
08 旅費	12		03 職員手当等	220		
10 需用費	1,202		07 報償費	300		
11 役務費	3,108		08 旅費	395		
12 委託料	8,448		10 需用費	1,424		
13 使用料及び賃借料	931		11 役務費	3,921		
17 備品購入費	15		12 委託料	12,827		
			13 使用料及び賃借料	1,569		
			17 備品購入費	248		
	合計	14,059	18 負担金補助及び交付金	30	合計	22,674

(4) 当該年度の実施内容	05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	地域産品、地域観光資源発掘事業に係る業務 ・ヤマザクラPR ・地位産品発掘PR ・地域産品磨き上げに関する有識者招聘 ・さくら川百貨事業 ・サイクリング事業(PR・自転車活用)	地域産品、地域観光資源発掘事業に係る業務 ・ヤマザクラPR ・地位産品発掘PR ・地域産品磨き上げに関する有識者招聘 ・さくら川百貨事業 ・サイクリング事業(PR・自転車活用)	地域産品、地域観光資源発掘事業に係る業務 ・ヤマザクラPR ・地位産品発掘PR ・地域産品磨き上げに関する有識者招聘 ・さくら川百貨事業 ・サイクリング事業(PR・自転車活用)

事務事業名	プロモーション事業	事務事業No.	40301001033	所属課	ヤマザクラ課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
地方創生推進交付金対象事業として、平成29年度から平成31年度までの3年間の継続事業として開始された。引き続き令和2年度から令和4年度までの3年間の継続事業として開始され、さらに令和5年度から令和6年度までの2年間の継続事業として開始された。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
ふるさと応援寄付金の返礼品としての需要拡大。商品の売り場（買えるところ）の確保。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市の総合戦略に位置づけられており政策体系に結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地場産品の販路拡大や市のPR強化、ふるさと応援寄付金返礼品等の需要が見込まれる。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 地場産品の自家消費から市内流通、市外流通へと徐々に成果へと結びつくのは、年数等を必要とする。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 地域経済の循環に支障が伴い、桜川市の知名度向上、観光の振興、地域産業の活性化に繋がらない。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 最小限の事業費、人件費で事業を実施しており削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 地方創生推進交付金対象事業として推進する。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	さくら川百貨事業では特に優れた特産品68品を選定するとともに、選定品カタログの作成、選定品事業者を対象にセミナーの開講、商談展示会への出展補助等により、選定品のPR及び販路開拓の支援を行った。ヤマザクラのPRとして茨城新聞内で前面広告を掲載した。サイクリング事業の更なる充実を図るため、「自転車活用推進計画」を策定した。																			
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上維持低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上維持低下	コスト			削減	維持	増加	向上維持			○	×	低下		×	×	×
成果	向上維持低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
向上維持			○	×																	
低下		×	×	×																	
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ①																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>